

平成19年6月8日  
内閣府（防災担当）

## 「火山情報等に対応した火山防災対策検討会」（第4回）

### 議事概要について

#### 1. 検討会の概要

日時：平成19年6月7日（木）14:00～16:00

場所：全国都市会館 3階 第一会議室

出席者：田中座長、藤井座長代理、新谷、荒牧、池辺、池谷、石川、岩田、香取、田鍋、山崎の各学識委員、  
内閣府増田政策統括官、丸山官房審議官、上杉参事官、篠原参事官、池内参事官、  
消防庁金谷防災課長、国土交通省中野砂防計画課長、気象庁横田火山課長 他

#### 2. 議事概要

新しいレベルの名称と火山情報の改善、アンケート結果、避難体制の構築等における課題等について事務局より説明を行い、各委員にご議論いただいた。委員からの主なご意見は以下のとおり。

##### （主な意見）

新しいレベルの名称は、「噴火警戒レベル」とするのが適切。

このレベルの一番低いレベルは、0でなく1であること、レベル1が平常であることを周知することが必要。

火山情報はわかりやすい情報になった。今までの情報とは違うということを知ることが重要。

噴火警戒レベルは短期的な視点からみた火山活動に対する警戒であり、中長期的な予測を表すものではないことを周知する必要がある。

避難体制の構築においては、噴火を経験していない市町村では意識が低い。防災意識を引き上げるには、市町村のトップにも、火山防災の重要性に対する認識を持ってもらうことが必要。

火山防災体制を構築するためには、市町村だけでなく国や県の役割を明確に示す必要がある。避難生活が長期化した場合の支援体制についても検討が必要。

シナリオに基づいた平常時からのトレーニングが重要。

##### <連絡・問い合わせ先>

内閣府 地震・火山対策担当参事官	池内 幸司
同企画官	三浦 知雄
同参事官補佐	佐藤 豊

TEL：03-3501-5693（直通） FAX：03-3501-5199